

第6回「きのくに学カフォローアップ事業」(1年数学 提案授業)!!

12月12日(月) 3限 1年1組 「数学科」 授業者 見矢 龍真 先生

授業のはじめに前時のふり返りの後で、本時のめあてが示されました。次に四人一組のグループになって共有の課題に取り組みました。

「まずはひとりで考えよう」、「わからなかったらきこう」、「きかれたらこたえてね」

授業者の落ち着いた静かな声に答えるように、各グループで「学び合い」が始まりました。授業者の意図的指名により2人の生徒が共有の課題の作図を黒板で発表。その後、ジャンプの課題への進んでいきます。

「目盛りのない白紙の用紙に書かれた三角形を平行移動させた図を書きなさい」

〈書き方を説明しよう〉

ジャンプの課題は、本校の課題である、『根拠をもとに自分考えを説明したり、人に伝えること』誰もが自分の言葉で自分の作図方法を人に伝えるために『書くこと』に一生懸命に取り組めていました。そして、生徒相互の「聴き合う関係」も構築され、「静かな学び」、「対話的・主体的な学び」が展開されていきました。



まずは独り(ひとり)で考えよう



わからなかったら訊(き)こう



訊(き)かれたら応(こた)えてね





おし
き 訊かれるまでは教えない 授業者の支援



意図的指名による発表



発表(二人で協力しながら)



自分の考えを書く



びっしり
書き込
む

これからは「書くこと」が求められますよ！

(12月9日付け 毎日新聞 記事より)

文部科学省は現行の大学入試センター試験に代えて20年度に始める新共通テストで短文形式と長文形式の記述式を課す方針で、国立大の受験生は新共通テストか2次試験のいずれかで必ず長文の記述式を解くことになりそうだ。

全国立2次に長文記述

大学入試20年度から

国大協方針

2020年度からの文式の記述式課す方針は、4月1日までに、80字程度以上の中国立大改革に際し、国立大受験生は新共通テストから、2次試験のいずれかで必ず長文の記述式を解くことになりそうだ。国立大の受験生は、現行のセンター試験の記述式を解くことになりそうだ。

文科省は、現行のセンター試験の記述式を解くことになりそうだ。文科省は、現行のセンター試験の記述式を解くことになりそうだ。

国立大受験生が記述式問題を解く流れ

新共通テスト	2次試験
①短文式(中難度)＝必須	長文式(国語中心)
②長文式(中～高難度)	

※2次試験で長文式を課さない大学は新共通テストの②を利用

国立・私立、自宅・下宿で差
文科省方針

低所得世帯の大学生
立の下限は私大
に対する必要の
給付額(月1万円)
について、文科省
私大の下宿は月4
は8日、開公の自
万円とする方針を

国立大協の求めに応じて
センターが提供する
法も検討する。記者
作成した。記者
も考えられた。
別の手法として、
の長文式を共通テ
トで実施せず、入
センターから試験
長文問題を作成し
決めた。定々本

